



## バリアフリー推進レポート



### 中国運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係表彰式を開催しました！！

中国運輸局では環境保全・交通バリアフリー等の優れた取り組みについて広く普及・奨励することを目的として、平成19年度から環境保全と交通バリアフリー等の分野で多大な貢献が認められた団体・個人を表彰しています。

令和4年度の表彰式は、11月9日(水)にホテルメルパルク広島にて執り行いました。

「環境保全部門」として以下の5団体、「交通バリアフリー等部門」として以下の1個人、1団体を表彰しました。

中国運輸局では、今後も運輸部門におけるCO2削減の取り組みの推進や、高齢者、障害者等の移動等の利便性の向上に向けて関係者と連携協力し、環境保全及びバリアフリー化の促進に取り組んで参ります。(以下、敬称略)



被表彰者 【環境保全】	功績概要
山口県山口市	毎月月末金曜日を「ノーマイカーデー」実施日とし、バス利用半額特典等の「のるトクカード」を参加事業所に配布する他、総合時刻表の発行、「山口市市民公共交通週間」の設定等、市民に対して公共交通の利用を呼びかけ、環境負荷低減に係る活動を積極的に行っている。
全農サイロ株式会社 (倉敷支店)	平成28年度に玉島ハーバーアイランドに営業倉庫を新設し、荷主との連携により、内航船輸送及びトラック輸送を必要としない物流体制を構築することで、環境負荷の低減及び物流の効率化に貢献している。
株式会社ミカサ	一般的な船尾管ゴム軸受より低摩擦性及び耐摩耗性に優れ、5%程度の燃料低減効果を有する「新型FFベアリング」を開発し、普及させることで環境負荷の低減に貢献している。
宮島松大汽船株式会社	宮島航路を運航している汽船「安芸」は2017年に建造されたため、2022年のドライドック時には軸受を交換する必要がなかったにもかかわらず、国内の両頭型定期航路フェリーで初めて、従来のゴム軸受より5%の燃料低減効果を有する「新型FFベアリング」(株式会社ミカサ開発)にあえて交換し、運航することで環境負荷の低減に貢献している。

岡山県笠岡市	高齢化が進展する離島(北木島・高島)において、島民の港等までの移動手段確保、日本遺産認定に伴う観光客の周遊を目的として、本格的にグリーンスローモビリティを導入し、利用の促進を図ることで、島内交通の活性化及び環境負荷の低減に貢献している。
--------	--

被表彰者 【交通バリアフリー等】	功績概要
山口県山口市	平成20年より継続的に、市自らが主体となって学校施設等でバスの乗り方教室を開催し、乗車マナークイズや車いす体験、席の譲り合いのロールプレイ等を通して市民に「心のバリアフリー」の啓発活動を積極的に行っている。
井上 一成(感謝状)	「バリアフリープロモーター」として当局主催のバリアフリー教室において長年講師を務め、知的障害・身体障害の理解啓発活動を進めている。また作業所施設を地域の社会資源と捉えて実習や見学の場として解放し、市民に「心のバリアフリー」を広げている。

益田局長 挨拶



山口市 様



宮島松大汽船株式会社 様



表彰式全景



全農サイロ株式会社 様



笠岡市 様



受賞者謝辞 ((株)ミカサ 様)



株式会社ミカサ 様



井上一成 氏

